

第3回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 グループワーク「課題分析」検討結果

A 班 テーマ：ごみ処理全般、情報発信・啓発、仕組みづくり

課題	要因（なぜ課題が生じているか）	次回（施策検討）に向けた論点
・日野市民はゴミに対して意識が高い！取組を継続して行う必要があることが市民に伝わっているか	・やる気にさせる広報が不足 ・学生に対しての広報が不足	・ごみ減量日本一のポスターを大学、高校、中学校、小学校に掲載
・アプリの活用が若い世代に多い 更なるリニューアルが必要	・アプリの内容がアップデートされない	・LINE 等他の SNS への展開が必要 ・分かり易い、使いやすいアプリにすることで情報が取りやすいようにする
・インセンティブが必要	・ごみ量の削減に貢献しているという実感がわきにくいと、継続できなくなるのでは ・お金によるインセンティブは難しい	・インセンティブはお金ではなく、心にご褒美（〇〇地区のごみ量減少等地区単位での表彰）という形でも良い
・減量による効果や成果・メリットを分かりやすく発信して、取組を続けてもらえるようにすること ・正しいごみの出し方は、市民の財布から出るお金が減ることにつながる	・広報により伝わる情報が少ない	・広報の改善
・自然災害への対応について	・浅川や多摩川の氾濫時にごみ処理を適切に行うことができるのか	・いつ起こるかかわからない災害に対して、事前に対応策を検討する必要がある
・リサイクルについて	・施設の使い勝手が悪い	・リサイクルの効率化

B 班 テーマ：排出抑制・資源化（各品目の分別・減量について）

課題	要因（なぜ課題が生じているか）	次回（施策検討）に向けた論点
・生ごみは減量しているのか	・共働き世帯が増加し、家庭での調理機会が減少している	・生ごみの量を測れる指標の設定を行う
・ダンボールコンポストについて	・全世帯への普及は非現実的 ・電気式生ごみ処理機が壊れていて使用不可になっている	・生ごみを収集して堆肥化する施設整備の是非の検討
・指定袋が高い	・高い理由、プラスチック類ごみの指定袋の価格が可燃ごみ等の指定袋と同価格である理由が市民に伝わっていない	・価格を下げない理由、プラスチック類ごみの指定袋の価格が可燃ごみ等の指定袋と同価格である理由を市民に分かり易く伝える
・プラスチック類ごみについて	・対象や汚れ具合の判断基準が不明である	・分かり易い判断基準を伝える
・剪定枝について	・発生量が不明である（対策が検討できない）	・量の把握をする

C 班 テーマ：収集運搬・中間処理・最終処分

課題	要因（なぜ課題が生じているか）	次回（施策検討）に向けた論点
・二重袋だと中身が分からない（破けない） ・ごみ袋が高い（理由がある）	・袋の繊維がそれぞれ違う	・袋の品質の改善 ・ごみ袋が高い理由を市民に分かりやすく伝える
・袋に対して大きい重い物が入っている	・袋にどれくらいの大きさ、かつ、どれくらいの重さのものまで入れてよいのか不明	・ごみ・資源分別カレンダー等で市民に分かりやすく提示
・集積所で分別がされていないものが排出されている	・個々の意識の問題である（限度はある）	・集積所の分別・排出マナーの改善
・生ごみで飲食デリバリー（ウーバーイーツ等）のものもある	・飲食デリバリー（ウーバーイーツ等）が発展している	・食べ残しに対する意識啓発の強化